

## モルヒネ

### 本誌の評価：必須

一般名：塩酸モルヒネ

薬効名：即効性強力オピオイド鎮痛剤

商品名：オプソ 5mg、10mg

モルヒネ塩酸塩 10mg「DSP」

説明書の内容に疑問や質問があるときは医師か薬剤師にお尋ねください。保管は子どもの手の届かないところに。

#### ■何のくすり？（効能・効果）

がんによる強い痛みを、すばやく抑えるための鎮痛剤です。強い痛みの出始めや、途中で急に痛みが強くなってきた時などに最も適しています。「痛みの原因」は取り除きませんが脳の神経に作用して「痛みを和らげ」ます。正しく使えば、ほとんどの強い痛みに効きます。

#### ■使用する前に確かめてください

- ・アレルギーはありませんか？
- ・妊娠中では？ 妊娠の可能性は？ 妊娠の予定は？
- ・授乳中では？
- ・他に病気はありませんか？

当てはまる方は医師に伝えておいてください。

#### ■モルヒネに対する誤解と安全性

モルヒネ系統の薬剤は「強力オピオイド」といいます。麻薬でもあり「中毒を起こす」と誤解されやすいですが、がんの痛みにはこれほど優秀な鎮痛剤はなく、正しく使えば安全で中毒は起こしません。安心して使ってください。

#### ■モルヒネの効き方の個人差

効き方と必要量は1人1人異なります。痛みの起こり始めは早く効いてほしいけれど、効きすぎても困ります。即効性モルヒネは、あなたに必要で十分に効く量を素早く見つけるために最も適した鎮痛剤です。効かないのは、量が少な過ぎるか、使い方が不適切か、いずれかです。

#### ■はじめて使うとき

使い始めはふつう 5mg（2.5mL、または 10mg 錠を半分）を使います。1回の服用で痛みをあまり感じず、副作用症状が気にならない状態が4時間程度続く量が適量です。その量が見つかるまで、少しずつ（30～50％）量を増やしたり減らしたりしながら調節します。

#### ■徐放剤への切り替え

必要なモルヒネの1日量が決まったら、できるだけ早く、1日2回でよい徐放剤に切り替えます（始めは1日1回よりも1日2回の方が調節しやすい。貼付剤への切り替えはしないこと）。

#### ■臨時の使用（途中の痛みで臨時で用いる場合）

強い痛みが突然起きてきた時にも役立ちます。自分ですぐに使えるように、前もって使い方を医師に聞いておいてください。標準量は、その時に使用している1日量の6分の1です。12分の1程度でも効く場合があります。頻回に必要なら、徐放錠を増やす必要があります。

#### ■減量・中止

即効性のモルヒネだけを長期間使用していて急に中断すると禁断症状が現れることがあります。自分の判断で使用を止めないようにしてください。病気がよくなって痛みが軽くなれば、減量や中止できることがあります。中止する場合には3週間以上かけてゆっくりと減らしながら行えば、離脱症状（禁断症状）なく中止できます。

#### ■使用中に注意すべきこと

便秘と吐き気はよく起きます。予防のために前もって便を軟らかくする薬剤や、吐き気止めを飲んでおくとういでしょう。吐き気はそのうち治まることが多いので、治まれば吐き気止めは不要。便秘は治まりにくいので続ける必要がある場合が多いです。ねむ気が気になる人は、痛みが生じない程度に少な目で服用してください。

#### ■副作用

##### ※すぐに受診すべき症状

- ・皮膚が冷たい ・精神錯乱、けいれん ・強いめまい
- ・呼吸が遅い ・目（瞳）が点状に

##### ※できるだけ早く医師に報告すべき症状

- ・幻覚 ・脈が遅くなる ・発疹 ・強いかゆみ
- ・興奮 ・顔がほてる、熱っぽい

##### ※医師に報告してほしい症状

- ・便秘 ・吐き気 ・口が渇く
- ・不眠 ・尿が出にくい ・食欲がない

##### ※症状がひどいときや続くときは報告を

- ・ねむ気、だるい ・立ちくらみ ・頭が重い

##### ★急な中止や減量で見られる症状

- ・痛みが強まる ・下痢 ・脈が速い ・あくび
- ・発熱、発汗 ・鼻水、くしゃみ ・吐き気、嘔吐
- ・瞳孔が広がる ・ふるえ ・イライラ ・神経過敏

★これら以外でも「害反応（副作用）かな？」と思ったら、遠慮なく、医師か薬剤師にたずねてください。